

—編集後記—

ノーベル賞を受賞した人、スポーツの世界記録を更新した人、重大な犯罪で捕まった人…このような人たちがマスコミで報道される時、その人の生い立ちが述べられます。人間は生まれ育ちや過去の経験によって作られてきたので、その行動には必ずその人の生い立ちが反映していると思われ、そのために私たちは生い立ちに関心を抱くのでしょう。私は土壤物理学会、土壤肥料学会の他に日本ペドロロジー学会に所属しています。ペドロロジーは土壤の生成・分類・調査等に関わる学問分野で、土壤断面調査を重要な手法としています。この調査は断面を機械的に層位分けして記載するのではなく、土壤生成因子

(母材、気候、時間、地形、生物、人為)がどのように作用してその土壤を作ってきたか、いわば土の生い立ちを常に考えつつ進めることが重要です。土壤の物理性に関する試験研究を行う上でも、対象土壤の生い立ちを意識しつつ進めることは研究上有用なだけでなく、研究の楽しさを増やしてくれるものだと思います。またペドロジストの側でも、土壤物理の新しい計測や解析の手法で有用なものはどんどん取り入れ、ツールとして使っていくべきです。今後、土壤物理とペドロロジーの連携がますます深化していくことを期待しています。

久保寺秀夫（編集委員）

土壤物理学会

事務局構成

会 長	筑紫 二郎 (九州大学)
副 会 長	井上 光弘 (鳥取大学)
庶務幹事	長 裕幸 (佐賀大学)
会計幹事	近藤 文義 (佐賀大学)
編集幹事	宮本 輝仁 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
会計監査	大坪 政美 (九州大学)
”	甲本 達也 (佐賀大学)

編集委員会

委 員 長	原口 暢朗 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
委 員	石黒 宗秀 (岡山大学)
	猪迫 耕二 (鳥取大学)
	川本 健 (埼玉大学)
	久保寺秀夫 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
	取出 伸夫 (三重大学)
	中村 公人 (京都大学)
	坂西 研二 ((独)農業環境技術研究所)